

科目名	成人慢性期看護学演習Ⅰ Chronic Care Nursing SeminarⅠ			担当教員 (研究室番号)	関根 由紀 (504)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次前期	科目区分	専門科目		選択区分	コース必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
											遠隔授業	否
科目目的	成人慢性期看護学領域（がんや慢性疾患患者）における患者や家族が抱えている問題に対する看護援助について、諸理論や研究成果を概観し、理論を活用した看護実践を探究する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。										
到達目標	1. 慢性期看護（がん看護含む）の現状を把握することができる。 2. 慢性期看護（がん看護含む）領域で用いられている理論について探究することができる。											
成績評価方法(基準)		討議・プレゼンテーション：50%、レポート50%で総合的に評価する。										
教科書		適時、紹介する。										
参考書等		適時、紹介する。										
受講者へのメッセージ		現象を対象者からの視点で捉え、患者や家族が抱えている課題を深く追求してください。										
備考												
回	学習項目			学習内容					主担当教員	授業方法		
1回	慢性期看護における現状と理論			慢性期看護の現状について知り、その領域で用いられている理論について探究する。					関根	対面(演習)		
2回	がん看護における現状と理論			がん看護の現状について知り、その領域で用いられている理論について探究する。					関根	対面(演習)		
3回	セルフケア理論			健康課題がある人のセルフケアについて、オレムのセルフケア理論を用いて探究する。					関根	対面(演習)		
4回	セルフマネジメントや症状マネジメントモデル			健康課題のある人のセルフケアや症状マネジメントモデルについて探究する。					関根	対面(演習)		
5回	生活を再構築するための行動変容			健康課題がある人が生活を再構築するための行動変容について探究する。					関根	対面(演習)		
6回	アドヒアランス			慢性的な健康課題がある人が主体的に取り込むための患者教育について探究する。					関根	対面(演習)		
7回	慢性期における自己効力感			慢性的な健康課題がある人の自己効力感について探究する。					関根	対面(演習)		
8回	慢性期におけるストレスコーピング			慢性的な健康課題がある人のストレスコーピングについて探究する。					関根	対面(演習)		
9回	がん疾患におけるストレスコーピング			慢性的な健康課題がある人のストレスコーピングについて探究する。					関根	対面(演習)		
10回	ソーシャルサポート			慢性的な健康課題がある人のソーシャルサポートについて探究する。					関根	対面(演習)		
11回	病みの軌跡			慢性的な健康課題がある人の病みの軌跡について探究する。					関根	対面(演習)		
12回	不確かさ			慢性的な健康課題がある人の不確かさについて探究する。					関根	対面(演習)		
13回	意思決定支援			慢性的な健康課題がある人や、その家族の意思決定支援について探究する。					関根	対面(演習)		
14回	倫理的課題			慢性的な健康課題がある人の倫理的課題について探究する。					関根	対面(演習)		
15回	地域在宅への支援			慢性的な健康課題がある人の在宅支援について探究する。					関根	対面(演習)		